

報 告 1

民間送迎バスを活用した補助的交通の実証運行について

民間送迎バスを活用した補助的交通の実証運行について、別紙のとおり報告します。

●草津市地域公共交通計画との整合

基本方針2 多様な移動ニーズに応じた生活交通の確保(多様な輸送資源の総動員)

施策⑦ 福祉分野等と連携した移動手段の充実

(3)病院・事業所等の送迎サービスとの連携

病院送迎バスは、地域公共交通と連携又はこれを補完する交通手段として、医療機関等の各種施設利用者の移動を支える補助的交通の役割を担い、既存バス路線との輻輳を避けつつ、効率的な運行サービスを検討するものとしています。

●事業概要

①内容

社会医療法人誠光会が運行する送迎バスのうち、昨年常盤学区からの要望を受けて実証運行を行った結果休止となった「草津北ルート」を再編し、病院利用者以外の市民が利用できるようにすることで、移動手段の充実や外出機会の創出が可能か実証運行を行い、結果を踏まえて本格運行への移行を検討するものです。

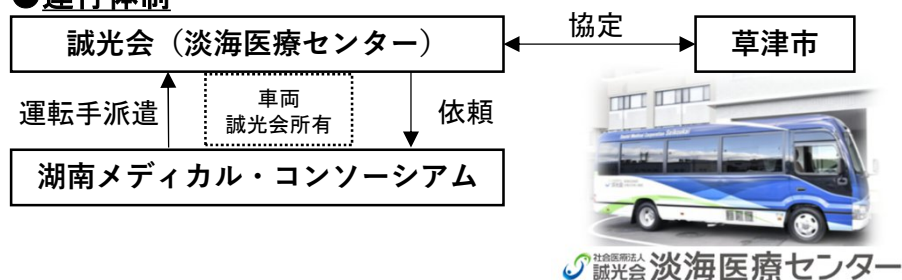
②効果

市民	誠光会	草津市
- 移動手段の充実 - 外出機会の創出	- 患者サービス向上 - 病院の認知度向上	- 公共交通機関等の乗り継ぎ拠点の確保 - 新たな移動手段の確保

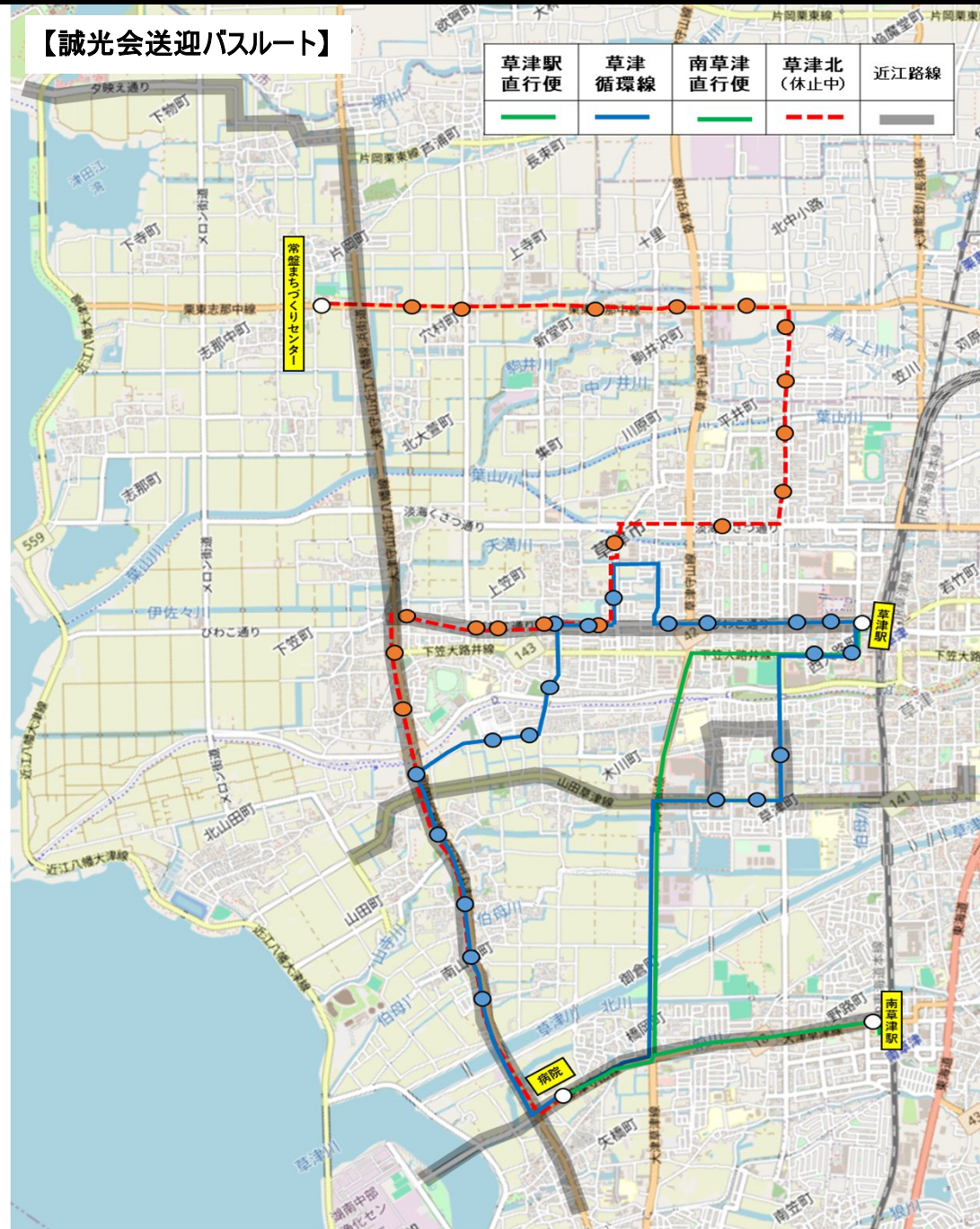
③運用

利用対象者	利用料金	乗降制限
制限なし	無料	各停留所で乗降可能

●運行体制



【誠光会送迎バスルート】



●草津北ルートの再編および利用促進

誠光会と草津駅西口側の路線バスを運行する近江鉄道(株)との調整の結果、
休止中の草津北ルートを再編し、実証運行を行うこととします。

◎近江鉄道意見

・「草津駅直行便」、「南草津駅直行便」、「草津循環便」は近江鉄道路線バス（南草津西口線）と重複しており、また、運行時間帯が似ている便もあるので、既に無料の送迎バスに利用者が流れている

- ・草津北ルートであれば路線バスへの影響が少ないと思われる

◎誠光会意見

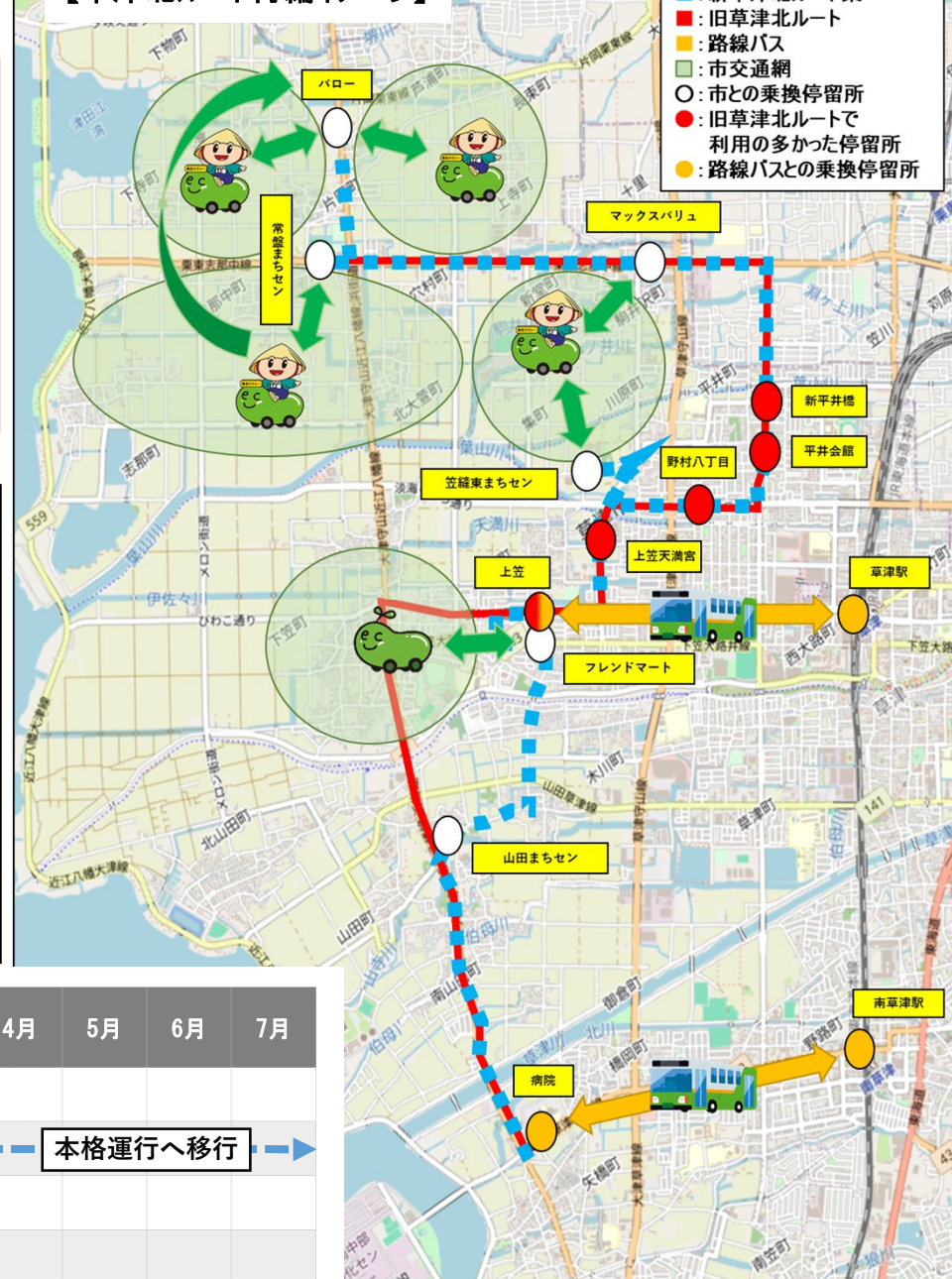
- ・実証運行時に「常盤まちづくりセンター」より北側の方から運行の要望があった
- ・「新平井橋」や「平井会館」など再編イメージの「●」の停留所で利用者が多かった
- ・周知が行き届かず1便あたり3～5名程度の利用に留まった

◎市の方針

- ①旧草津北ルートを活かしつつ、まめバス・まめタクにおける生活拠点を通るルートを設定します(再編)
- ②笠縫東・常盤学区を運行するまめタクが地域拠点に到着する時間に合わせたダイヤ設定を行うことで、送迎バスとの乗換を促します(利用促進)
- ③送迎バスから路線バスに乗り継ぐことで駅などへ行けるダイヤ設定にし、利用の相乗効果を図ります(再編・利用促進)
- ④「広報くさつ」、「市HP」、「地域の会合やイベント」を通じて認知度向上を図ります(利用促進)

※本格運行への移行については、路線バス等への影響、誠光会の意向、誠光会以外の停留所の利用者状況などを踏まえた指標を検討します

【草津北ルート再編イメージ】



スケジュール	R6 10月	11月	12月	R7 1月	2月	3月	4月	5月	～	R8 3月	4月	5月	6月	7月
・ 協議会	報告			承認										
・ 実証運行														
・ 調整（地元含）	→													
・ 協定							→							